

■事業承継マッチング支援について

マッチング支援は、後継者がいないことなどを理由に「事業を譲り渡したい」とお考えの方と、創業や新分野進出等を目的に「事業を譲り受けたい」とお考えの方をつなぐ、無料のマッチングサービスです。

「続けたい」と「始めたい」をつなげる。

後継者がいないことなどを理由に「事業を譲り渡したい」とお考えの方と、創業や事業拡大等に向けて「事業を譲り受けたい」とお考えの方をつなぐ、マッチングサービス「事業承継マッチング支援」を提供しています。

①譲り渡しに関するニーズ
②譲り受けに関するニーズ
③ニーズが合致する両者を引き合わせ(マッチング)

後継者が不在の
中小企業・小規模事業者の方等

創業をお考えの方
事業を拡大したい
中小企業・小規模事業者の方等

JFC 日本政策金融公庫
国民生活事業

【受付時間】 平日 9:00~17:00
下関支店 (国民生活事業)
〒750-0016 山口県下関市細江町 2-4-3
Tel:083-222-6225

日本公庫 事業承継マッチング 検索

こちらの二次元コードからもご覧いただけます。

■小規模企業共済について

小規模企業の
会社役員の
みなさまへ

制度の特長

Be a Great Small.
中小機構

会社の役員なら /
小規模企業共済

小規模企業の会社等役員の方が
廃業や退職後の生活資金事業再建資金をあらかじめ準備しておく共済制度です。
国が作った制度なので、安心・安全です。

小規模企業等の
会社役員なら加入可能

建設・製造・運輸・サービス業(宿泊業・娯楽業に限る)等は常時使用する従業員の数が20名以下の会社役員等。

代表者以外の
会社役員でも加入可能

代表者以外の会社役員の方でも商業登記簿謄本に役員登記されている方ならどなたでも加入可能。

役員なら受け取れる
大きなメリット

小規模企業共済制度には積立時・受取時ともに大きなメリットが受けられます。詳細は下記をご覧ください。

個人事業主、
会社代表者の方も
もちろん
加入できます

制度のメリット

掛金は全額所得控除
掛金は全額が「小規模企業共済等掛金控除」として課税対象所得から控除できます。

受取時も税制メリット
共済金の受取は一括の場合は「退職所得扱い」、分割の場合は「公的年金等の雑所得扱い」です。

～24時間・365日お問い合わせ可能になりました～

加入資格・手続きについてのご質問をチャットでご回答いたします。詳しくは右記のQRコード又はホームページからご確認ください。

加入・掛金のご質問はこちらをクリック
24時間いつでもチャットで質問可能です
小規模企業共済

小規模共済 検索

■労働情報

労働保険のお知らせ

年度更新の手続きは6月1日から7月11日までの間に行っていただくことになります。

労働保険料		3 回 分 割		
		第1期 (全期)	第2期	第3期
納 期 限	個 別 事 業	7月11日	10月31日	翌年1月31日
	事 務 組 合		11月14日	翌年2月14日

※個別事業の方は、概算保険料の額が40万円（労災又は雇用保険のいずれか一方の保険関係のみ成立している事業については20万円）を超える場合に延納（3回分割）ができます。
事務組合へ委託の事業所は、額の多少にかかわらず延納ができます。

令和4年度雇用保険料率のご案内

- ◆「雇用保険法等の一部を改正する法律案」が令和4年3月30日に国会で成立しました。令和4年4月1日から令和5年3月31日までの雇用保険料率は以下のとおりです。
- ・ 令和4年4月から、事業主負担の保険料率が変更になります。
- ・ 令和4年10月から、労働者負担・事業主負担の保険料率が変更になります。
- ・ 年度の途中から保険料率が変更となりますので、ご注意ください。



＜令和4年度の雇用保険料率＞

(赤字は変更部分)

○令和4年4月1日 ～ 令和4年9月30日

事業の種類	負担者		事業主負担		①+② 雇用保険料率
	① 労働者負担 (失業等給付・ 育児休業給付の 保険料率のみ)	② 事業主負担	失業等給付・ 育児休業給付の 保険料率	雇用保険二事業 の保険料率	
一般の事業	3/1,000	6.5/1,000	3/1,000	3.5/1,000	9.5/1,000
(3年度)	3/1,000	6/1,000	3/1,000	3/1,000	9/1,000
農林水産・※ 清酒製造の事業	4/1,000	7.5/1,000	4/1,000	3.5/1,000	11.5/1,000
(3年度)	4/1,000	7/1,000	4/1,000	3/1,000	11/1,000
建設の事業	4/1,000	8.5/1,000	4/1,000	4.5/1,000	12.5/1,000
(3年度)	4/1,000	8/1,000	4/1,000	4/1,000	12/1,000

(枠内の下段は令和3年度の雇用保険料率)



○令和4年10月1日 ～ 令和5年3月31日

事業の種類	負担者		事業主負担		①+② 雇用保険料率
	① 労働者負担 (失業等給付・ 育児休業給付の 保険料率のみ)	② 事業主負担	失業等給付・ 育児休業給付の 保険料率	雇用保険二事業 の保険料率	
一般の事業	5/1,000	8.5/1,000	5/1,000	3.5/1,000	13.5/1,000
農林水産・※ 清酒製造の事業	6/1,000	9.5/1,000	6/1,000	3.5/1,000	15.5/1,000
建設の事業	6/1,000	10.5/1,000	6/1,000	4.5/1,000	16.5/1,000